

市政に 対する 一般質問

10名の議員が質問

12月定例会の一般質問は、12月17日・18日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

高子 秀明 台風19号の影響について

四竈 英夫 台風19号被害について

佐藤 龍彦 水門の管理について

佐久間儀郎 タイムライン(事前防災行動計画)について

松野 久郎 農山漁村再生可能エネルギー法の活用について

伊藤 勝美 今後、刈田綜合病院をどのように支えていく方針なのか

菊地 忠久 関係人口について

森 建人 台風19号について

佐藤 秀行 旧白石衛生センター第二事業所について

大森 貴之 避難場所について

他 他 他 他 他 他 他 他 他 他

台風19号の影響について

高子 秀明



〔質問〕台風19号の甚大な被害を受けた農地について、来年度に作付不能な農地(水田・畑・果樹園・花卉などは把握しているか。

〔答弁〕農林課長「農林課に被害申告があった261件の現地調査を行なっている。
なお、共済組合から11月末現在で報告を得ている作物被害に関しては、水稲が31件、143筆の被害申告があり、被害面積は16.703ヘクタール、園芸が10戸、ビニールハウス12棟の被害申告があり、被害面積は309平方メートルとなっている。〔質問〕市内各地の農家の方々には、河川の氾

濫により農地に土砂やプラスチックごみなどが流入し「来年から作付けしない」とおっしゃっている方もいる。
耕作放棄地が増え、本市の農産物の収穫量減の懸念があるが、所見を伺う。

〔答弁〕市長「農地等についても甚大な被害が発生したことは十分理解しており、地元国会議員、県議会議員にも、一日も早い農地復旧に関して力強く要望、要請をしている。

また、実質来年1月から国の査定となるが、その査定を受け、国の支援を受けることが農家の復旧にとって非常に重要だと思っていることから、強力に推進できるよう、これからも全力で努めていきたい。

〔質問〕避難所に関して、道路の冠水のため、事の大きさに気付いたときには指定避難所に向かうことができず、不安と焦りで何をしたらよいか分からなくなつた市民も多い。

当事者などからも避難所に関して何とかならないのかとご意見が寄せられている。今後、大雨の予測がある場合、避難所設置に関して改善が必要と考えるが、本市の意向を伺う。

〔答弁〕市長「今後このような雨が降った場合、同様の被害の恐れがあることから、今回の被害を教訓に、初動期における避難所開設場所については、白石市防災会議にて検証を行い、地域防災計画に反映させていく。

〔その他の質問〕
◎白石市中学生議会の開催における成果について
◎本市の教育現場の状況について